

## 人工股関節全置換術患者の回復過程と生活の満足度に関する研究

金沢大学医療技術短期大学部 泉 キヨ子

### 【研究目的】

人工股関節全置換術は、変形性股関節症や慢性関節リウマチなどで高度に股関節に変形をきたし、疼痛が強く、可動制限のある患者にとって、無痛性と可動性が獲得できる手術である。しかし、人工の関節ゆえ、耐用年数の問題もあり、長期に使用するには、股関節にかかる負担を少なくなるような日常生活の過ごし方などの退院指導や継続看護が重要である。ところで、人工関節全置換術を受けた患者の回復過程には、両側の関節か片側か、年齢、罹病期間、ADL、関節拘縮の程度、筋力強化運動、体重のコントロール、職業、意欲などさまざまな要因が関与すると考えられる。

そこで本研究は、人工股関節置換術者の患者教育の有効な手段を明らかにするために、術後の日常生活の回復過程と生活の満足度について検討した。

### 【研究方法】

(1) 対象はK大学医学部附属病院で人工股関節全置換術を受け、退院後1年間の経過を追跡することのできた81例（男9例、女72例、平均年齢56.0±9.8歳）であり、うち63例（男7例、女56例、平均年齢55.3±10.9歳）は関節可動域（以下ROM）や生活の満足度を検討した。

(2) 方法は、①大学病院退院時および術後2～3ヵ月後毎に現在のADLの状況、日常生活の過ごし方、杖使用の有無、術後のリハビリテーション期間や内容、筋力強化運動の内容、体重の変化、職業、などの変化を外来での面接または一部郵送により prospective に調査した。②ADL項目は、日本整形外科学会変形性股関節症判定基準の日常生活動作をもとに、日常使われる動作を加えた11項目（腰かけ、ズボン着脱、入浴、正座、すわっておじぎ、椅子からの立上がり、しゃがみこみ、靴下着脱、足指爪切り、段階昇降、バス乗降）である。ADLの評価は自立3点、部分介助2点、

全介助（不能を含む）1点とした。③生活の満足度は、Selman, S. W. の MODIFIED ARTERHITES IMPACT MEASUREMENT SCALES (MAIMS) を使用し、手術後1年以上経過し、2年未満の患者に郵送法で調査した。このスケールは、人工股関節全置換術を受けた患者の身体的、社会的、精神的な安寧を測定できるとされている。サブスケールとして、可動性、身体活動、社会的役割、社会活動、日常生活動作、抑うつ、不安、痛みの8つがあり、手術の満足度などを入れて56の質問項目から成り立っている。スコアは、術前・術後変化なしを0点、術後肯定的な反応をその程度に応じ+1、+2、+3点、否定的な反応を-1、-2点として採点した。④ROMは外来カルテから把握した。

### 【結果】

(1) 対象は変形性股関節症65例（80.2%）、大腿骨頭壊死9例（11.1%）、慢性関節リウマチ（RA）5例（6.2%）、大腿骨頸部骨折2例（2.5%）であった。

(2) 股関節に関連したADL11項目の回復過程は（図1）、術後1年間に、ほぼ自立に達している項目が多かったが、バス乗降、しゃがみこみ、座っておじ

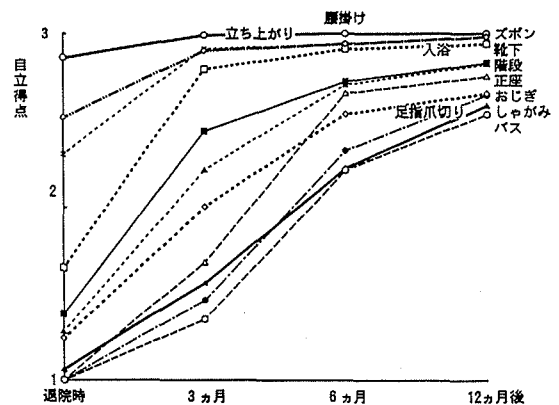


図1. ADL項目別の回復過程 (n=81)

ぎ、足指の爪切りの得点が低かった。

(3) ADL11項目の1年間にわたる回復過程は4グループに大別され(図2), さらに術後3カ月までの回復状況が, その後の経過に特徴ある差を生じることが認められた。

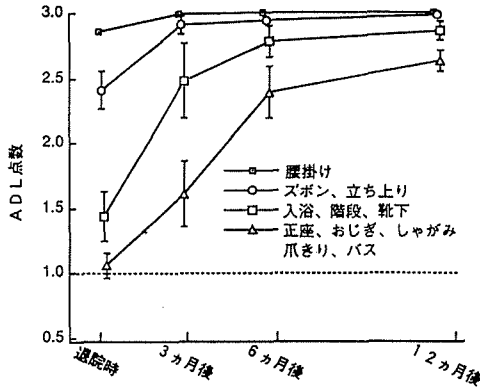


図2. ADL 4群の回復状況 (n=81)

(4) 手術後は前に比し, 痛み, 日常生活動作, 身体活動, 可動性, などの改善のみならず, 社会的役割や社会活動, 不安, 抑うつなどでも肯定的な反応がみられた(表1)。また, これらすべての変数間に正の相関がみられた ( $P<0.01$ )。

表1. MAIMSのサブスケールの平均 n=62

サブスケール	範囲	平均値±SD
痛み	-5~+5	2.50±1.65
社会的役割	-6~+6	2.58±3.08
身体活動	-5~+5	1.71±3.17
ADL	-5~+5	1.61±2.07
不安	-6~+6	1.33±3.00
可動性	-4~+4	0.98±3.17
抑うつ	-6~+6	0.66±2.87
社会活動	-4~+4	0.61±1.91

以上の成績から人工股関節全置換術は, 一般に患者のADLの回復とともに生活の満足度も高めるが, その程度は術後3カ月の時点でのADLの回復状況の評価が, その後の予測に有用と思われた。

今後, 術後3カ月の時点で1年後の各患者のADLの状況や生活の満足度を予測し, 対応に応じた援助方法を計画し, 以後経過に応じて必要な看護ケア展開してゆきたい。